

< あなたの治療について >

泌尿器科 - Pembro/LENV - 腎 - q3w

今回の治療は、Pembro/LENV という治療法で、キイトルーダ（Pembro）という注射薬とレンビマ（LENV）という内服薬を併用して治療を行います。キイトルーダ、レンビマは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行い、1日目の点滴の日から連日内服薬を服用します。この治療を3週間（21日間）ごとに35クール繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1～21日目
	レンビマ (抗がん剤) 20mg/day	内服	

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2～21日目
①	キイトルーダ (抗がん剤) 200mg/body	点滴 約30分		お休み

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

レンビマ、キイトルーダによる

- AST、ALT 等の上昇を伴う肝障害 ●悪心 ●食欲減退 ●体重減少 ●下痢 ●疲労
- 高血圧 ●手足症候群 ●発声障害 ●蛋白尿 ●甲状腺機能低下症

◎特徴的な副作用について

レンビマにおける

●高血圧

「頭痛、肩こり、めまい、動悸、息切れ、顔のほてり、体がだるい、目のかすみ、意識の低下、意識の消失、吐き気、鼻血」などの症状

●肝障害

「疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振、意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）」などの症状

●心障害

「めまい、動悸、気を失う、息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加、胸の不快感、脈がとぶ」などの症状

●創傷治癒遅延

「傷が治りにくい」などの症状

●疲労、無力症、めまい、筋痙縮等

*** 自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう注意すること。**

●甲状腺機能低下症

「疲れやすい、まぶたが腫れぼったい、寒がり、体重増加、いつも眠たい、便秘、かすれ声、脱毛」などの症状

キイトルーダにおける

*** 免疫チェックポイント阻害剤における副作用は、別添の資料を参照して下さい。**

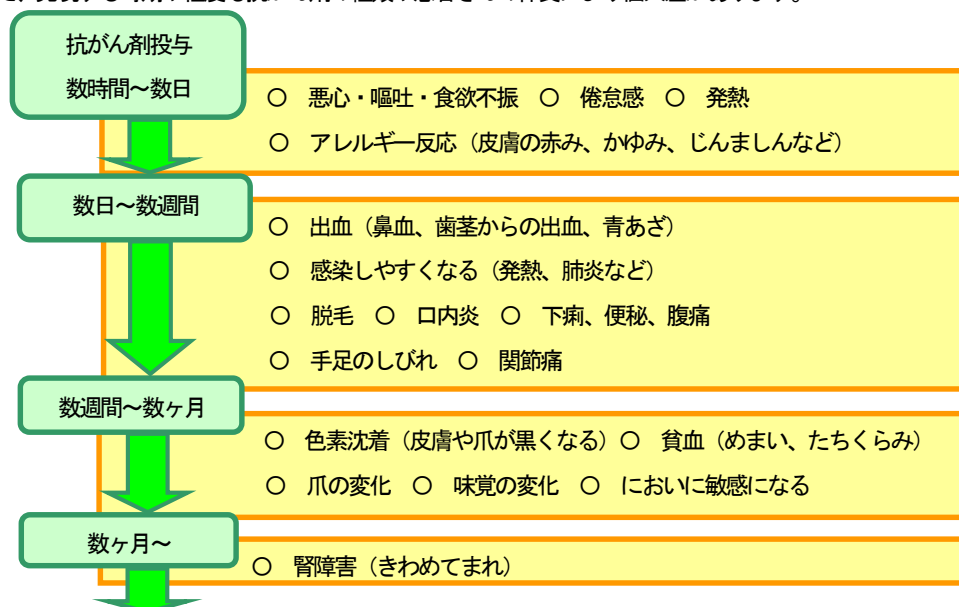
*** 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

◎副作用の発現時期の目安

* この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎**薬品毎の副作用について**（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【レンビマ】

〔高血圧〕血圧の著しい上昇、意識がもうろうとする、激しい頭痛

〔出血〕ふらつきやめまいなどの貧血症状、口から血を吐く、便が黒くなる、血尿

〔動脈血栓塞栓症、静脈血栓塞栓症〕意識障害、頭や胸の痛み、息苦しさ

〔心障害〕動悸、息苦しさ、脈の乱れ

〔間質性肺疾患〕発熱、から咳、呼吸困難

【キイトルーダ】

〔間質性肺疾患〕発熱、から咳、息苦しい

〔大腸炎、小腸炎、重度の下痢〕嘔吐（おうと）、腹痛、下痢、泥状の便

〔中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑〕まぶたや眼の充血、唇や口内のただれ、発疹、みずぶくれ、発熱

〔類天疱瘡〕かゆみの激しい水疱

〔神経障害〕運動のまひ、手足のしびれ、指先のしびれ、歩行困難

〔劇症肝炎、肝不全、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎〕食欲不振、吐き気、嘔吐、からだがだるい、白目や皮膚が黄色くなる、かゆみ、発熱、右上腹部の痛み

〔甲状腺機能障害〕汗をかきやすい、胸がドキドキする、からだがだるい、寒がりになる

〔下垂体機能障害〕からだがだるい、頭がぼーっとしたり意識がなくなったりする、血圧低下

〔副腎機能障害〕からだがだるい、意識がうすれる、低血圧

〔1 型糖尿病〕からだがだるい、のどの渇き、尿の量が増える、意識の低下

〔腎障害〕むくみ、頭痛、尿量が減る

〔膵炎〕吐き気、嘔吐、胃・おなかの激しい痛み、背中での痛み

〔筋炎、横紋筋融解症〕脱力感、筋肉の痛み、息苦しい、赤褐色尿

〔重症筋無力症〕まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感

〔心筋炎〕からだがだるい、発熱、吐き気、息苦しい

〔脳炎、髄膜炎〕発熱、頭痛、意識の低下

〔重篤な血液障害〕貧血症状、発熱、出血傾向

〔血球貪食症候群〕発熱、左上腹部の圧迫感や痛み、リンパ節のはれ

〔結核〕長引く微熱・咳、からだがだるい、体重減少

〔インフュージョン・リアクション〕呼吸困難、意識障害、まぶた・唇・舌のはれ

〔ぶどう膜炎〕目のかすみ、視力の低下、蚊が眼の前を飛んでいるように見える、まぶしい、眼の痛み、眼の充血

◎ **上記のほかにも副作用が現れることがあります。**

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。